

おおたクリエイティブタウン研究プロジェクト

Ota Creative town research project



モノづくりのまちづくり～工場のまちの魅力を次世代に継承する～

Town planning utilizing manufacturing

— Passing down the charm of the factory town to the next generation —

（背景・目的）

大田区は中小の町工場が日本一集まる街として、工場を中心に地域のコミュニティが形成されてきました。しかし近年、職人の後継者不足などにより工場が廃業してその数は減少、工場跡地には立地の良さから住宅が建ち並び、地域外から移り住む住民が増加しています。そのような中で、工場と住民の関係希薄化や、工場数の減少による街の個性の消失が課題として危惧されています。そこで本プロジェクトは、「工場と地域住民が良好な関係を築き、誰もが気軽にモノづくりを楽しめる街」を目指し、モノづくりを活かしたまちづくりに取り組んでいます。

（活動内容の概要）

「おおたオープンファクトリー」と呼ばれる、大田区内の町工場を一齐に公開して見学やワークショップを行うイベントに、学生企画で参加しています。今年は感染症の影響を鑑みてイベントをオンラインで開催し、私たちは主に3つの活動に取り組みました。

①WEBサイト制作

オンラインイベント特設HPを、WEB制作会社と協力しながら作成しました。

②オンデマンド動画

職人が先生役となって子供向けに工場の技術紹介動画を企画して撮影・編集に取り組み、動画は300人以上に視聴頂きました。

③ライブ配信動画

職人同士の座談会やアバターロボットでの工場見学を企画して配信環境の整備・企画構成に取り組み、当日は250人以上に視聴頂きました。

現在は、参加工場への感想ヒアリングや、過去の活動内容のWEBアーカイブ化、町工場によるB to C製品販売の検討に取り組んでいます。

（今後の可能性）

今までの活動を継承・発展し、地域住民が日常的に街の魅力を感じられる「地域への浸透」や、他団体とも連携し大田区全体へ「活動規模の拡大」を図ります。

- 学生：5名（神谷南帆、中西豊、平山知実、小川岳志、山岸匠 / 担当教員：野原卓
- 連携・協力：一般社団法人おおたクリエイティブタウンセンター、一般社団法人大田観光協会
- 活動地域：東京都大田区（特に、武蔵新田・下丸子地区周辺）
- サイト：